**行事報告書（研修）**

報告者：華崎律子

|  |  |
| --- | --- |
| 行事名 | 甲山森林公園・研修会 |
| 実施日時 | 平成29年9月14日（木曜日）10時～14時 |
| 場所 | 甲山森林公園～仁川広河原 |
| テーマ | 甲山森林公園の自然観察・水辺の生き物の観察 |
| 講師 | 児玉勝久講師・木村俊三講師 |
| 参加者数 | 29名 |
| 内容（項目と概要） | 　児玉講師の「今、ハチの活動期に入っているので、野外活動では充分注意を」という話の後、みなそれぞれ川に入るための長靴やタモを持って、今日の研修の目的地である仁川広河原に向かった。　途中、たくさんのコナラの葉と共にまだ熟していないドングリが落ちていて、ゾウムシの仲間のハイイロチョッキリが卵を産み付けて枝を切って落としたものと説明を聞いた。殻斗に黒い穴が開いていた。花序が葉より短いマルバハギ、豆果が2個で花が小さいヌスビトハギ、ウメモドキの赤い実、オケラの蕾を見て、広河原に到着。　すでに木村講師がタモや水槽を用意してくださっていて、観察や捕まえ方の注意を聞いた。早速、着替えて用意をして、みな思い思いに魚、エビ、カニ、ヤゴ、水生昆虫を捕まえるべく、川に入った。水は澄んでいて、冷たく、みな、少年少女にかえってタモをふるっていた。　30分～40分後に、それぞれの捕まえた水生生物を同定した。魚では、肉食で模様のあるドンコ（８cm）、黒い縦筋のあるカワムツ（７．５cm）、活発なムギツク（托卵するらしい）、いっぱい捕まえたヨシノボリ。エビはテナガエビ、ヌマエビ。サワガ二は腹に子ガニを持ったものがいて、ビックリする。ヤゴでは、コシボソヤンマ、オジロサナエ、ヘビトンボ、コオニヤンマ。カワニナにもチリメンカワニナがあった。ナガレトビケラ、コガタシマトビケラ、ガガンボ、ヒゲナガカワトビケラの幼虫を見た。また河川の水質の指標となるナベブタムシの説明や、魚の鼻が4つある話など興味深かった。　昼食の後、なかよし池に向かう。タンナサワフタギやヤマコウバシの黒い実を観察する。なかよし池ではヒメビシの小さい白い花や、茎の膨れを観察。公園に戻って、赤く実ったヤマボウシの実をおいしく食べて、みくるま橋で「飛ぶ宝石」のカワセミを見た。 |
| まとめ感想 | 今日の観察会はたくさんの生き物を観察することができて大変勉強になった。また秋に向かって果実を実らせている樹木も多かった。 |